



令和6年度川崎市あんしんセンター生活支援員研修

2024年11月5日・8日、川崎市あんしんセンター生活支援員研修(36名参加)で会長の小野が講師を務めました。

特別支援学校における消費者教育—期待される学習テーマと内容

- ・ 金銭管理教育は算数や数学といった教科学習、校外学習や進路学習、生活単元科目などで実施される機会が多い。

→科目横断的、簡潔で「小回りの利く」教材の準備が有効!

- ・ 授業で扱ってみたいテーマ「買物の方法」等に関する

→契約やルールなど抽

- ・ 外部の機関と講師の活用消費生活センター等の

→【提案】センターの

→【提案】就労や社会

出所：小野由美子・川崎孝明、「全国民生活センター『国民生活研究』」



【内容・目標】

日常生活自立支援事業に対応する職員様に、主にインターネット・スマホ利用に関わる「障害者の消費行動と生活トラブル」について、消費者教育の現状と実践への理解を深めていただく。

「消費者白書」の内容・データから、障害者等の契約トラブルの傾向と知的障害者の金銭管理のポイントについて解説しました。

講師が検討メンバーとして関わった消費者庁や東京都のスライド教材や動画教材を紹介した後に、グループごとに事例を変え、ワークショップ形式で検討・共有していただきました。

受講者の感想

- ・ キャッシュレス決済が多くなってきているので、タイミングよく学ぶことができた。
- ・ お金に関していろいろな Web サイトがあるのを知り、見てみようと思った。
- ・ 障害者の消費における問題、トラブル等具体的に例題があつての勉強になった。